



## 2024年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年9月5日

上場会社名 不二電機工業株式会社  
コード番号 6654 URL <https://www.fujidk.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八木 達史  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 総務部長 (氏名) 下村 徳子  
四半期報告書提出予定日 2023年9月12日 配当支払開始予定日 2023年10月2日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 075-221-7978

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年1月期第2四半期の業績(2023年2月1日～2023年7月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第2四半期	1,824	3.5	200	5.1	213	2.7	218	50.1
2023年1月期第2四半期	1,890	3.1	190	125.5	207	80.1	145	79.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第2四半期	39.38	39.32
2023年1月期第2四半期	25.64	25.60

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年1月期第2四半期	11,120	10,335	92.9	1,860.23
2023年1月期	10,869	10,167	93.5	1,831.24

(参考)自己資本 2024年1月期第2四半期 10,326百万円 2023年1月期 10,158百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期		16.00		16.00	32.00
2024年1月期		16.00			
2024年1月期(予想)				16.00	32.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年1月期の業績予想(2023年2月1日～2024年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,720	0.3	330	5.7	353	5.7	304	16.1	54.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年1月期2Q	6,669,000 株	2023年1月期	6,669,000 株
期末自己株式数	2024年1月期2Q	1,117,630 株	2023年1月期	1,121,430 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年1月期2Q	5,549,207 株	2023年1月期2Q	5,679,777 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3.「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算説明資料は2023年9月6日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	9
生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費が緩やかに持ち直し、企業収益にも改善の動きがみられましたが、国内における継続的な物価上昇が懸念されるなど、その先行きに不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、当社は、国内では重電機器、一般産業、電鉄・車両業界、海外ではアジアや中東各国を重点に営業活動を行った結果、テレフォンリレーやI/Oターミナルが増加しましたが、汎用端子台やコネクタ端子台が減少したことから、売上高は1,824百万円(前年同期比3.5%減)となりました。

利益面におきましては、売上高が前年同期を下回りましたが、在庫の積上げや販売費及び一般管理費における経費の一部が低減したことから、営業利益は200百万円(前年同期比5.1%増)、経常利益は213百万円(前年同期比2.7%増)となりました。四半期純利益は、特別利益におきまして投資有価証券売却益102百万円を計上したことから、218百万円(前年同期比50.1%増)となりました。

売上の状況は次のとおりであります。

なお、電気制御機器の製造加工及び販売事業が売上高の90%超であるため、売上の状況につきましては、製品分類ごとに記載しております。

#### (制御用開閉器)

各種カムスイッチは増加しましたが、各種補助スイッチや鉄道車両用スイッチが減少したことから、売上高は455百万円(前年同期比11.3%減)となりました。

#### (接続機器)

大電流接触子が増加しましたが、汎用端子台やコネクタ端子台が減少したことから、売上高は740百万円(前年同期比10.7%減)となりました。

#### (表示灯・表示器)

集合表示灯や各種表示器が減少したことから、売上高は214百万円(前年同期比9.0%減)となりました。

#### (電子応用機器)

テレフォンリレーやI/Oターミナルが増加したことから、売上高は373百万円(前年同期比29.6%増)となりました。

#### (仕入販売)

太陽光発電向け設備や部品販売が増加したことから、売上高は31百万円(前年同期比34.4%増)となりました。

#### (その他)

電気制御機器以外の売上高は8百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前事業年度末比250百万円増加し、11,120百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加173百万円、製品の増加41百万円、建物の減少52百万円及び投資有価証券の増加41百万円等によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末比82百万円増加し、784百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の増加34百万円、製品保証引当金の減少14百万円及び流動負債のその他に含まれる預り金の増加19百万円等によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末比167百万円増加し、10,335百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加129百万円及びその他有価証券評価差額金の増加33百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ173百万円増加し、1,340百万円(前年同四半期は1,091百万円)となりました。

各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動による資金の増加は、185百万円(前年同期比2.5%増)となりました。主なプラス要因は、税引前四半期純利益315百万円、減価償却費98百万円等であり、主なマイナス要因は、投資有価証券売却益102百万円、棚卸資産の増加額57百万円及び法人税等の支払額49百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動による資金の増加は、75百万円(前年同期比6.0%減)となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入110百万円及び金型投資を含む有形固定資産の取得による支出29百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動による資金の減少は、88百万円(前年同期比72.8%減)となりました。要因は、配当金の支払額88百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年1月期の業績予想につきましては、2023年8月29日付「2024年1月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表致しました通期の業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,466,974	4,640,121
受取手形及び売掛金	1,053,605	1,107,507
電子記録債権	322,929	295,334
製品	255,512	296,604
仕掛品	453,508	475,975
原材料	563,602	557,516
その他	35,934	53,909
流動資産合計	7,152,067	7,426,970
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,509,720	1,457,674
土地	1,347,627	1,347,627
その他(純額)	189,279	197,230
有形固定資産合計	3,046,626	3,002,532
無形固定資産	13,005	10,606
投資その他の資産		
投資有価証券	609,408	651,031
その他	48,873	29,303
投資その他の資産合計	658,281	680,334
固定資産合計	3,717,913	3,693,473
資産合計	10,869,981	11,120,444

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年1月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	122,753	114,049
短期借入金	120,000	120,000
未払法人税等	75,768	110,625
賞与引当金	55,566	53,003
役員賞与引当金	—	2,025
製品保証引当金	84,914	70,181
その他	119,421	183,517
流動負債合計	578,423	653,402
固定負債		
退職給付引当金	108,523	115,698
その他	15,440	15,874
固定負債合計	123,963	131,572
負債合計	702,387	784,975
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,087,250	1,087,250
資本剰余金	1,712,314	1,712,257
利益剰余金	8,368,109	8,497,859
自己株式	△1,255,990	△1,251,734
株主資本合計	9,911,683	10,045,633
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	247,253	281,179
評価・換算差額等合計	247,253	281,179
新株予約権	8,656	8,656
純資産合計	10,167,593	10,335,468
負債純資産合計	10,869,981	11,120,444

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
売上高	1,890,896	1,824,070
売上原価	1,215,592	1,160,469
売上総利益	675,303	663,600
販売費及び一般管理費	484,894	463,417
営業利益	190,409	200,183
営業外収益		
受取利息	141	260
有価証券利息	—	33
受取配当金	8,026	7,613
助成金収入	5,217	5,260
為替差益	4,588	2,350
その他	3,292	2,909
営業外収益合計	21,267	18,427
営業外費用		
支払利息	484	488
投資事業組合運用損	2,872	4,679
その他	409	0
営業外費用合計	3,766	5,168
経常利益	207,909	213,442
特別利益		
投資有価証券売却益	—	102,310
特別利益合計	—	102,310
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	207,909	315,752
法人税等	62,306	97,240
四半期純利益	145,603	218,511



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	207,909	315,752
減価償却費	106,961	98,385
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	990	2,025
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19,729	7,174
受取利息及び受取配当金	△8,168	△7,906
支払利息	484	488
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△11,659	△14,732
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△102,310
投資事業組合運用損益(△は益)	2,872	4,679
助成金収入	△5,217	△5,260
有形固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	△24,815	△26,306
棚卸資産の増減額(△は増加)	△115,041	△57,473
仕入債務の増減額(△は減少)	13,314	△8,703
その他	9,616	16,864
小計	196,976	222,675
利息及び配当金の受取額	8,197	7,948
利息の支払額	△458	△498
助成金の受取額	5,217	5,260
法人税等の支払額	△28,665	△49,543
営業活動によるキャッシュ・フロー	181,267	185,841
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,200,003	△3,200,005
定期預金の払戻による収入	3,300,001	3,200,003
有形固定資産の取得による支出	△22,659	△29,617
無形固定資産の取得による支出	—	△165
投資有価証券の取得による支出	—	△9,893
投資有価証券の売却による収入	—	110,500
投資事業組合からの分配による収入	2,500	4,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	79,838	75,022
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△92,386	△88,440
自己株式の取得による支出	△232,800	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△325,186	△88,440
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,452	722
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△60,627	173,145
現金及び現金同等物の期首残高	1,152,190	1,166,971
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,091,562	1,340,116

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これにより、四半期財務諸表に与える重要な影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染拡大の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社は、電気制御機器の製造加工及び販売事業が売上高の90%超であるため、セグメントの記載を省略しております。

## 3. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

当社は、電気制御機器の製造加工及び販売事業が売上高の90%超であるため、製品分類別に記載しております。

## [生産実績]

当第2四半期累計期間の生産実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品分類	当第2四半期累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	前年同期比 (%)
制御用開閉器 (千円)	490,655	89.0
接続機器 (千円)	777,623	82.1
表示灯・表示器 (千円)	195,252	77.2
電子応用機器 (千円)	416,160	167.1
合計 (千円)	1,879,691	94.0

(注) 金額は販売価格で表示しております。

## [受注状況]

当第2四半期累計期間の受注状況を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品分類	受注高(千円)	前年同期比 (%)	受注残高(千円)	前年同期比 (%)
制御用開閉器	458,296	81.2	352,613	95.8
接続機器	770,047	91.2	398,256	104.8
表示灯・表示器	235,945	97.9	177,062	97.8
電子応用機器	332,776	68.5	532,763	95.6
仕入販売	81,765	170.0	95,915	228.0
その他	1,800	—	—	—
合計	1,880,631	86.1	1,556,611	101.8

(注) 金額は販売価格で表示しております。

## [販売実績]

① 当第2四半期累計期間の販売実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品分類	当第2四半期累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	前年同期比 (%)
制御用開閉器 (千円)	455,486	88.7
接続機器 (千円)	740,510	89.3
表示灯・表示器 (千円)	214,392	91.0
電子応用機器 (千円)	373,901	129.6
仕入販売 (千円)	31,678	134.4
その他 (千円)	8,100	—
合計 (千円)	1,824,070	96.5

② 当第2四半期累計期間の販売実績を販売形態別に示すと、次のとおりであります。

販売形態	当第2四半期累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	前年同期比 (%)
国内販売 (千円)	1,652,682	94.7
海外販売 (千円)	171,387	117.8
合計 (千円)	1,824,070	96.5

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しております。  
 2. 海外販売は輸出向け商社への販売及び直接輸出の合計であります。  
 3. 当第2四半期累計期間の海外販売の割合は、次のとおりであります。  
 なお、海外販売実績は、総販売実績の9.4%となっております。

販路	当第2四半期累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)
アジア	122,743	71.6
中東	20,497	12.0
その他	28,146	16.4
合計	171,387	100.0

以 上